

【競技及び審判上の注意】

- (1) 今大会は現行の〔公財〕日本バドミントン協会競技規則・同運営規定及び同審判規定に準じて行なわれる。
- (2) 本部の指示があるまではコート内での練習は認めない。
- (3) 競技開始の指示があつてから3分間以内にコートへ入らない場合は失格とする場合がある。
- (4) 主審は、①特にサービス時におけるサーバー及びレシーバーの「フォルト」について注視、判定し、示す。
②試合中に審判上のことでトラブルが生じたときは、速やかに競技委員長（レフェリー）に報告を行い、その指示に基づいて行動すること。
- (5) サービスジャッジについては競技委員長（レフェリー）が必要あると認めた場合に限り任命する。
- (6) 線審は、担当ラインについてシャトルが「イン」か「アウト」を判定し、手で示すこと。
- (7) ゲーム途中（11ポイント）に60秒・各ゲーム間に120秒を超えないインターバルを認める。なお、インターバル時に指定区域内に入れるものは2名までとする。
- (8) 試合中のけがや病気の手当や処置について、コートに入ることを許されるのは、必要と認められる医療補助員と競技委員長（レフェリー）及び競技審判正副部長だけである。
- (9) 試合中における水分の補給は、倒れてもこぼれないキャップのついたものとする。
※クーラーボックスのフロアへの持ち込みは禁止する。
※氷嚢の使用はインターバル中のみとし、使用後は保冷バッグに入れること。
- (10) 背中に県名、校名のゼッケンを着用のこと。
- (11) コーチ席に座る場合は、(1)に則った服装をすること。
- (12) 「換気」の放送があった場合、その時点でのラリーが終了するまでを有効とする。
- (13) その他、諸注意時（放送）の連絡を守ること。

【簡易ゲームについて】

個人戦は、ベスト32決定まで簡易ゲームを行う。以降は正規ルールとする。但し、**当日の進行状況でベスト32以降も簡易ゲームを行う場合がある。**

※簡易ゲーム：15点3ゲーム（2ゲーム先取）、延長ゲームなし、ゲーム間のインターバル60秒以内
ファイナル時チェンジエンズあり（インターバル無し）

【学校対抗戦の注意】

- (1) オーダー用紙は本部より指示があつたら、正副2部を速やかに提出すること。
- (2) エントリーメンバー変更は、大会当日の監督会議終了までに所定の様式に従って申請する。
- (3) ベンチに入る者はメンバー表に提出されている監督・コーチ・マネージャー・選手のみとする。
- (4) 試合順序は、第1複（D1）、第2複（D2）、第1単（S1）、第2単（S2）、第3単（S3）の順で実施する。
なお、S1は複を兼ねることはできない。
- (5) 試合はすべて3マッチ先取方式で行う。

【会場使用上の注意】

- (1) シューズは内外の区別をしっかりとすること。
- (2) アリーナでの飲食は禁止とする。ゴミは必ず各学校で持ち帰ること。（飲食については指示に従うこと）
- (3) 貴重品は各自責任をもって管理し、自己防衛に努めること。
- (4) 体育館使用のマナーに気を配ること。
- (5) 開始式のときの注意を守ること。（違反した場合はその学校を棄権扱いにする。）

【新型コロナウイルス感染拡大防止対策】

- (1) 試合会場へ入場できるのは、選手、引率者、役員、医療スタッフのみとする。
- (2) 感染防止のため消毒場所等を設ける。また、施設内や備品の消毒を役員が定期的に行う。
- (3) 審判はマスク着用のこと。また主審のコールは必要最小限とし、線審及びサービスジャッジは声を出さず、判定を示すのみとすること。
- (4) 大会期間中は、マスクの着用（試合中は除く）や手洗い等、各自が感染防止に努めること。
- (5) 会場内外での3密を避け、ソーシャルディスタンスを意識した行動をとること。
- (6) 学校対抗戦のベンチは設置いたしません。（コーチングシートのみ）
- (7) 水分補給用のボトルは、各自が用意したキャリーケースまたはバッグに入れ、フロアにボトルを直接置かないように使用すること。
- (8) 『第71回群馬県高等学校新人バドミントン大会に係る配慮及び準備に係わる留意事項について』を確認し大会に参加すること。